

[標準様式例 7-3]

## 随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	R 2 関東地方整備局管内における土砂災害発生危険度評価手法検討業務
業 務 概 要	本業務は、豪雨時の効果的・効率的な流域監視を行うために、地形・地質特性を踏まえ、最新の降雨データを用いて土砂災害発生危険度評価手法の適用性を関東地方整備局管内の流域を中心として検討し、適用条件の整理を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 土井 弘次 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	令和2年 8月3日
契 約 業 者 名	株式会社エイト日本技術開発
契 約 業 者 の 住 所	東京都中野区本町五丁目33番11号
契 約 金 額	¥29,953,000円 (税込み)
予 定 価 格	¥29,953,000円 (税込み)
随意契約によることとした理由	本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、技術力、経験、業務に臨む体制などを含めた技術提案を求め、簡易公募型に準じたプロポーザル方式により選定を行った。 (株)エイト日本技術開発は、技術提案書において総合的に最も優れた提案を行った業者であり、当該業務を実施するのに適切と認められたため、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	関東地方整備局管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 ( 自 )	令和2年 8月 4日
履 行 期 間 ( 至 )	令和3年 2月26日
備 考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。